



6月は環境月間です

きれいな街を目指して～市内で清掃活動を行います～

イベント名称	とき	集合場所	内容	主催・問合せ等
クリーンアップ! 延命公園	6/5(土) 9:30～12:00 (9:00集合) ※雨天延期 6/12(土)	生涯学習 支援センター 駐車場	延命公園内の旧日本 庭園と記念グラウンド に面した土手の除草 作業、片平山山道の 整備	主催 おおむた環境ネットワーク、有明・ 里山を守る会、はやめにここに会 問合せ 新谷 (☎080-5273-4695)
三池山整備活動	6/6(日)・6/20(日) 8:30～15:30 ※雨天中止	わいわい 交流かん (今山)	三池宮周辺および 三池山山道の整備	主催 三池の里を愛する会 問合せ 吉田 (☎090-2515-6390)

■問合せ 環境保全課 (☎41-2721)

※「第28回さわやかおおむたグリーンキャンペーン」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催を中止します。

※清掃活動を行う場合は、屋外でも密集・密接には十分注意して実施してください。

■問合せ 環境業務課 (☎41-2723)

全国ごみ不法投棄監視ウィークの啓発活動

環境省では、5月30日(ごみゼロの日)から6月5日(環境の日)までの期間を、「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」に設定し、市民、事業者、行政が一体となって不法投棄などに対する取り組みを強化しています。

本市でも、期間中は監視パトロールによる啓発を行います。不法投棄は早期発見と早期対応が大変重要です。不法投棄を発見されたら連絡をお願いします。



■問合せ・連絡先 環境業務課 (☎41-2723)

ごみ処理施設に直接ごみを持ち込むときのお願い

●顔写真付の証明証を持参してください

6月1日から、市外からの持ち込み防止および無許可での運搬業防止のため、運転免許証またはマイナンバーカードなどの顔写真付の証明証の提示が必要となりました。

●ごみは分別して

「もえるごみ」「もえないごみ」「大型ごみ」「資源物」「有害ごみ」に分別してください。

●受付時間

月～金曜日(祝日を除く)
午前8時45分～正午、午後1時～4時45分

●ごみを車から降ろすときはご自身で

大切な車へキズをつけないために、ごみはご自身でおろしてください。高齢者などサポートが必要な人は申し出てください。

●手数料

指定袋での持ち込みができない場合は、10kgにつき210円(10kg未満は210円)の手数料が必要です。

■問合せ

- ・もえないごみ・不燃性大型ごみ・資源物・有害ごみ
大牟田市リサイクルプラザ (☎59-1220)
- ・もえるごみ・可燃性大型ごみ
大牟田・荒尾RDFセンター (☎53-0411)

第10回大牟田市緑のカーテンコンテスト作品募集!

～節電しながら、涼しい夏を過ごしませんか～

緑のカーテンは、窓際でゴーヤやアサガオなどのつる性植物をカーテンのように育て、夏の日差しを遮り和らげる節電方法のひとつです。花や緑を楽しみながら緑のカーテンを育て、コンテストへ応募してみませんか。

●応募部門

- ▶家庭部門 家庭で取り組んだもの
- ▶学校部門 学校や保育園、幼稚園などで取り組んだもの
- ▶事業所部門 事業所や公民館、自治会などで取り組んだもの

●応募方法

写真(3点以内)に、必要事項を記入した応募用紙を添えて、持参、郵送、メールのいずれかの方法で提出してください(FAX不可)。

※写真は緑のカーテン全体がわかるもの(正面から建物全体を映したものを)必ず1枚提出してください。
応募用紙は環境保全課窓口または市ホームページから入手できます。

●応募締切

9月30日(木)必着

●表彰等

優秀作品には表彰状、副賞があり、市ホームページなどで紹介します。



昨年度の優秀作品(家庭部門)

「九州エコファミリー応援アプリ(エコふぁみ)」無料配信中!



福岡県産プレゼントの一例

アプリに登録すると協賛店で割引券等が受けられるパスポートを取得できるほか、エコな活動に取り組んでポイントをためると、抽選で2,000円相当のプレゼントがもらえます。令和3年4月からはアプリがバージョンアップし、九州の特産品がプレゼントに加わりました。

登録は簡単で、個人情報の入力不要です(プレゼントを受け取る場合には、住所などが必要)。ぜひアプリを活用して、エコな活動に取り組みましょう。



アプリのダウンロードはこちらから



<Android>



<iPhone>

たから幼稚園こどもエコクラブがダブル受賞!

令和2年度全国エコ活コンクールで、本市のたから幼稚園こどもエコクラブが、壁新聞部門と絵日記部門でダブル受賞しました。受賞作品は、令和2年7月豪雨災害をきっかけに挑戦した、コンテナを使った稲作りを描いた素晴らしい作品です。

こどもエコクラブは、環境に興味のある子ども(3歳～18歳)であれば、誰でも参加登録できます。登録すると、事務局からさまざまな活動支援を受けることができます。詳しくは環境保全課まで問い合わせてください。



全国エコ活コンクール受賞写真

■問合せ 環境保全課 (☎41-2721)

第3次有明圏域定住自立圏共生ビジョンを策定

～人が住み、自然とやさしさがあふれる活気ある圏域を目指して～

■問合せ 総合政策課 (☎41-2501)

本市と柳川市、みやま市、荒尾市、南関町、長洲町の4市2町は有明圏域定住自立圏を形成し、さまざまな取り組みを通じて広域連携を進めています。

今回、3年度から5年間の計画期間とする「第3次有明圏域定住自立圏共生ビジョン」を策定しました。これからも近隣の市町と協力しながら、誰もが住み続けたいと実感でき、多くの人々から暮らしてみたい、訪れてみたいと思われるような地域を目指します。



「定住自立圏」ってなに？

総務省が定める「定住自立圏構想」に基づき進めている自治体同士の広域連携のことです。近隣の市町村とさまざまな分野で協力し合い、「定住」のための暮らしに必要な生活機能（医療、福祉、産業、公共交通など）を圏域全体で確保するとともに、魅力ある地域づくりを進めることで、圏域全体を活性化することを目指しています。

大牟田市は平成21年8月に圏域の中心となる「中心市宣言」を行い、現在、4市2町で「有明圏域定住自立圏」を形成しています。

どんな取り組みをしているの？

有明圏域で連携している取り組みは、「生活機能の強化」、「結びつきやネットワークの強化」および「圏域マネジメント能力の強化」の各施策分野において、全部で22項目あります。この中でも、特に市民生活に関わりが深い取り組みを紹介します。

1 休日急患診療体制の確保

大牟田医師会・歯科医師会に委託し、休日の急患診療当番医体制と平日時間外の小児急患診療当番医体制を取っています。また、大牟田医師会所属の医療機関が病院群輪番制により、休日と夜間の二次救急医療体制を確保しています。

このように、休日や夜間に急な診療が必要になった市民に対し、迅速な処置ができるような体制を整えています。

■ 連携先：みやま市



2 圏域内の図書館の相互利用

大牟田市民の皆さんは、圏域内の他の市町の図書館が利用できます。

各図書館では特色ある図書資料の充実など、魅力ある図書館づくりを進めています。

■ 連携先：圏域の全自治体

3 コミュニティ放送を活用した地域情報の発信

平成 28 年 7 月に開局したコミュニティ FM「FM たんと」では、圏域内の行政情報やイベント情報を発信しています。災害発生時や災害発生が予想される時には、防災情報の緊急放送も行っています。

■ 連携先：みやま市・荒尾市



4 認知症施策の広域的推進

認知症の本人や家族の集いの場の支援、認知症サポーターの養成など、認知症に対する理解啓発を圏域全体で進めています。

また、認知症コーディネーターの養成など、人材育成のための研修会を行っています。

■ 連携先：圏域の全自治体

5 環境保全活動の推進

圏域住民や事業者への環境意識啓発活動に連携して取り組み、圏域全体で環境に対する意識向上を図っています。

さらに、再生可能エネルギーの利用促進の啓発にも取り組んでいます。

■ 連携先：圏域の全自治体

圏域内で実際に行われている

再生可能エネルギー利用の取り組み

行政と民間事業者が連携し、再生可能エネルギーの地産地消に向けた取り組みが進んでいます。

(例) みやま市「みやまスマートエネルギー」
荒尾市「有明エナジー」



大牟田市民の皆さんも、家庭用電力の購入先や太陽光余剰電力の売電先を、これらの事業者から選ぶことができます

※22～23 ページに環境月間の特集記事を掲載しています。

「有明圏域定住自立圏共生ビジョン」のことをもっと知りたい！

ビジョンには、圏域で連携する取り組みについて記載しています。ビジョンは市ホームページや図書館、各地区公民館でも読むことができます。



市ホームページ